

オリエンタルモーター株式会社

自主保全士育成による職場の変化



高松カンパニー製造統括部長
入谷 一也 氏

オリエンタルモーター株式会社からは高松カンパニー製造統括部長の入谷一也様から「自主保全士育成による職場の変化」と題して発表いただきました。同社ではTPM導入をきっかけとして、強制劣化を削減できる設備に強いオペレーターを育成することにより、保全チームが改良保全・予防保全に取り組む時間を捻出し、故障状況把握時間を減らすというビジョンのもと2019年度より自主保全士検定試験に取り組み累計で約200名の認定者数となり、近年では女性の認定者も増加しているそうです。取得支援として社内の勉強会と教育キットを活用して実践で活かせる学習を行うとともに、初回受験料を会社が負担す

ることや合格者の表彰、1級取得の奨励金など社員のモチベーション向上の施策も行われており、充実した支援体制があることをお話しいただきました。同社の教育・学習が実践・成果に繋がる事例も紹介され知識としての学習ではなく実践に繋がる資格という点を具現化した活動に参加者からも多くの関心が寄せられていました。発表の最後には「『設備を変え、人を変え、職場を変える』現場で働く全員が原理・原則に基づいた自主保全活動ができるように自主保全士検定を更に推し進め、生き生きと働ける職場づくりを継続していきます。」と力強くお話されていたことが印象的でした。